P307L
K9.0
A2

No.47
昭和51年12月初版

各国事情のしおり

―――― クウェイト編 ――――

1976. 12

ARY

国際協力事業団

国際協力事業団

受入月日 '87. 4. 22	308
	20
登録No. 08477	KA

はしがき

本小冊子は、技術協力のために海外に派遣される専門家のオリエンテーション用資料としてクウェイトに派遣されている専門家からの調査報告をもとに作成したものであります。

本小冊子は、専門家の日常生活に密着した任国事情、特に衣食住、気候、教育、公共施設、対日感情、治安等を重点に作成しました。

本小冊子の各項目については、今後も適時修正を行ってゆく方針でありますが、本小冊子が同国に赴任する専門家各位の何らかの参考になれば幸であります。

最後に、御多忙中のところ進んで本小冊子原稿執筆の労をとられたクウェイト国派遣電気通信専門家青木滋麿氏に深甚な謝意を表します。

昭和５１年１２月

国際協力事業団
総務部長　木　村　敬　三

JICA LIBRARY
1044311[7]

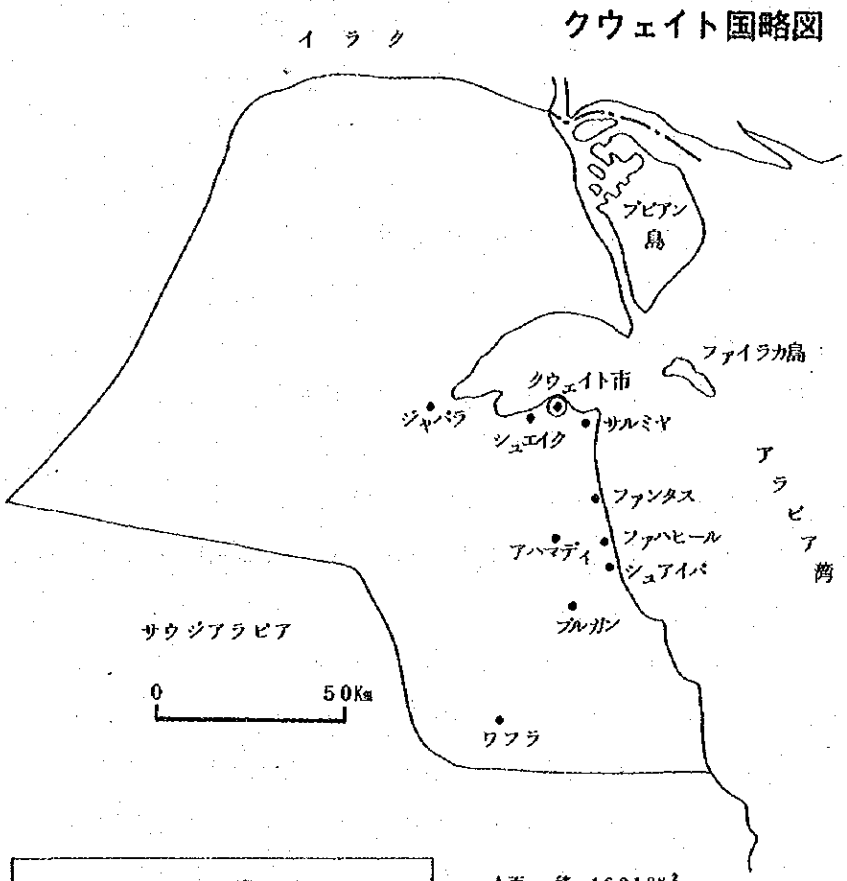
目　　次

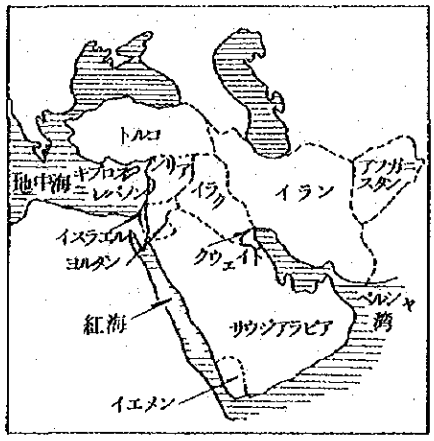
I　任国事情 …… 1

1. 住宅（住宅事情、家賃、ホテル、什器、備品、水、電気、ガス、電話）…… 1
2. 食品（食料事情、価格、日本食品、外食）…… 8
3. 衣類、日用品（衣料事情、日用品）…… 16
4. 使用人（メイド、コック等）…… 18
5. 医療（医療事情、医薬品、疾病の種類、健康管理上の注意事故）…… 19
6. 子弟の教育機関（教育制度、日本人学校、授業料、通学方法）…… 22
7. 娯楽設備（保養地、日本人クラブ等）…… 26
8. 電力（使用電圧等）…… 28
9. 交通（交通事情、タクシー、ハイヤー、レンタカー、自動車購入、運転免許等）…… 29
10. 為替（相場、対日送金、滞在費の受取方法）…… 37
11. 出入国管理（税関検査、外人登録、ビザの更新手続等）… 38
12. 便宜供与（種類、カウンターパート等、免税特権）… 40
13. 通信・運輸（郵便事情、電信電話サービス等）…… 41
14. 言語（公用語、英語等の普及等、現地語学習）…… 43
15. 気候（概況、夏期、冬期）…… 44
16. 治安（一般情勢、夜間外出、緊急時連絡方法）…… 47
17. その他（対日感情、現地人気質、新聞雑誌、風俗、習慣、理髪・美容、クリーニング、買物等）… 48

II　大使館等連絡先 …… 57

クウェイト国略図





☆面　　積　16,918Km²
☆人　　口　990千人（1975年国勢調査）
☆首　　都　クウェイト市
☆通貨単位　1クウェイト・ディナール（KD）＝約1,000円
☆宗　　教　イスラム教
☆教　　育　4・4・4 制で男女別学
☆公 用 語　アラビア語
☆住　　民　クウェイト人　469千人（47.4%）
　　非クウェイト人　521千人（52.6%）
☆国民所得　11,365 USドル（1975年度）
備　　考：クウェイト石油の世界に占めるシェアとしては原油確認埋蔵量では世界第3位（10.8%）、原油生産量では世界第6位（4.0%）となっている。（1975年末）原油輸出量の27.2%が日本向けとなっている。OAPEC（アラブ石油輸出国機構）の本部所在地となっている。

I 任国事情

1. 住　宅

(イ) 住宅事情

クウェイトの建物はすべてブロックとコンクリートで作られている。一般的に、クウェイトは一戸建ての庭つき邸宅（VILLAと呼ばれる）に住み、外国人はすべて4～5階程度の高層アパート（FLATと呼ばれる）に住んでおり、都市計画上その地域も分れている。

クウェイトの人口は年々急増しているため、これら住宅の建設が追いつかない現状にある。特に、最近ではレバノン内戦を避けて、外国企業などがベイルートから移転して来たため、住宅が極端に不足し、家賃の相場は1年間で倍増するほど暴騰した。また、日本人や欧米人が望むような環境にある住宅は数が限られており、非常に選択の巾が少なく、希望者も多いので、短期間での住宅の確保は非常に困難となっている。

特に入居希望者の多いＦＬＡＴは、空き待ちのウエイティングリストが作成されており、入居時には3カ月～1年間の家賃前払を必要とする場合が多い。もし、時間的余裕が十分ある場合には数カ月後に完成すると思われる建築中の建物を訪ねて、家主と家賃などについて直接交渉する方法もあるが、建物の竣工が予定より大巾に遅れてしまう場合があり、入居までに日時がかかる場合が多い。

このような最悪な住宅事情を考えると、政府派遣専門家の住

宅は、クウェイト政府の提供を前提とする必要がある。

政府職員用ＦＬＡＴの建物は非常に数が多いが、建物により、新旧、室数、設備、環境などに大きな差異がある。新しい建物は、設備も良く、日本に比べてスペースも十分あるので快適である。

もし、既存の政府職員用のＦＬＡＴに適当な空がない場合には民間のＦＬＡＴを政府で借上げることも可能であり、これらＦＬＡＴの管理は MINISTRY OF FINANCE が一元的に行っている。

(ロ) 家　　賃

家賃は過去１年間で倍増した状態にあるため、あたかも時間的要素で決められているように思われるほどである。すなわち、全く同じ条件のＦＬＡＴであっても、契約時点によって家賃は全く異なっている。新規に入居した人は、同じ条件のＦＬＡＴに以前から入居している人達よりも２～３倍も高い家賃を支払わなければならないことがごく普通のこととなっている。また、家主はクウェイト人に限られているため、外国人の入居者に対しては、法律的にも強い立場にあり、家賃の値上げを図ろうとすることが多く、もしそれが認められない場合は、いろいろの理由をつけて立退を迫ったりする。

しかし一方、新しい高層アパートの建設もさかんに行われており、今後、レバノン内戦のような突発的な事態が再び起らない限り、家賃の相場も安定していくことが期待される。

以下に１９７６年１０月時点における１ヵ月当りの家賃（セ

ントラルエアコンの場合）を参考値として示す。

	家具なし	家具付
2ベッドルーム	20～30万円	30～40万円
3ベッドルーム	35～45万円	45～55万円

なお、政府職員用FLATの場合は家賃（家具付）は完全に無料であり、水代、電気代も一定の使用限度までは無料となっている。

(ｲ) ホ　テ　ル

ホテルは KUWAIT HILTON と MESSILAH BEACH HOTEL を除いて、すべてクウェイト市の中心部に集中している。上クラスのホテル以外は規模も小さく、必らずしも設備は近代的とは云えない。

しかし、ホテル代だけは日本の超一流ホテル並みであり、しかも、予約をかなり事前に行わないと、室の確保は困難である。

中クラスのホテルで日本人が比較的多く利用するのは、大使館の裏にある SAHARA HOTEL であるが、家族づれの滞在の場合には、郊外にあって海に面した保養所のような感じの MESSILAH BEACH HOTEL が最適である。AMBASSADOR HOTEL は予約をとりやすく、長期滞在には経済的であるが、設備は極めて悪い。

最近は、ホテル代も家賃と同じように非常に値上りをしている。

以下に1976年10月現在におけるホテルの一泊料金

（１５％のサービス料を含む）を参考値として示す。

	上クラス	中クラス	下クラス
シングル一室	２２ＫＤ	１４ＫＤ	―
ダブル一室	２８ＫＤ	１７ＫＤ	１４ＫＤ
ツイン一室	３０ＫＤ	２３ＫＤ	１４ＫＤ

ホテル名	クラス	電話番号
KVWAIT SHERATON	上	４２２０５５
KUWAIT HILTON	上	５３００００
MESSILAH BEACH	上	６１３４６６
SAHARA	中	４２４１２１
CARLTON	中	４２３１７１
BRISTOL	中	４３９２８１
PHOENICIA	中	４２１０５１
UNIVERSAL	中	４２５３６１
GOLDEN BEACH	中	４３９５２１
AMBASSADOR	下	４２５２８８

なお、政府派遣専門家で単身赴任の場合は GOVERNMENT GUEST HOUSEに滞在することができる。ここは、かつて、英国軍の兵舎（キャンプ）であったが、現在は、世界各国から政府関係機関を訪れる専門家などのための宿泊所となっている。都市再開発の対象地域となっているため、建物や設備は古いが、敷地は広く緑が多いので環境は非常によい。

(二) 什器、備品

① 携行を必要とする食器類等

食品類はほとんどのものを当地で調達できる。しかし、以下のような純日本的なものは調達できないので、日本から携行する必要がある。

- 家族および客用の茶わん、はし、おわん、湯のみ、きゅうす
- 出刃庖丁、菜箸、へら

日本製、中国製の皿類は入手可能である。またヨーロッパ製の食器類は高価なものから安価な実用品に至るまで豊富である。

② 入居当初購入を必要とする物および価格

政府職員用ＦＬＡＴに入居する場合は、以下のような家具類は備わっているので、購入の必要はない。

応接セット、食卓、椅子、寝台、タンス、鏡台、机、木箱、じゅうたん、カーテン、電気冷蔵庫、ガスレンジ、毛布、シーツ、枕、サイドボードなど

しかし、すべて規格品で、必ずしも質的、量的に満足すべきものではないので、必要に応じ若干は自己負担で追加購入しなければならない。もし、これらの基本的な家具類をすべて購入するとした場合には、1,０００ＫＤ以上は必要である。

また、上記の家具類に含まれないで購入を必要とすると便利なものは以下のとおりである。

品　　名	価格(KD)
電気がま	18
電気掃除機	30
電気洗濯機	50
電気アイロン	5
カラーテレビ	90
FMカセットラジオ	25
電気フリーザー	100
その他食器、台所用品類	50

(ホ) 水、電気、ガス、電話

政府職員用FLATの場合は、水、電気は入居と同時に利用可能である。電気の使用量は個別メータにより積算されている。飲料水の給水システムには水道と水タンクの2種類がある。水道が完備している建物では、断水や濁水の心配はないが、地域によっては、屋上に各戸用の水タンクを設置している建物もあり、この場合には定期的に給水車が巡回してきて、水タンクに給水している。水タンクの場合は、使用量が多いと断水したり、水タンクの材質によっては、赤さびなどの濁水が起りやすい。

FLATの選定条件の一つとして水道が完備していることが望ましい。

なお、クウェイトにおいては、地下水を一部利用する他は、すべて海水蒸溜工場から水を得ており、現在の給水能力は十分な余裕をもっている。

一方、電信電話については、日本電信電話公社とクウェイト政府とがコンサルタント契約を結び、１９６５年から１０年間にわたって遂行された、電信電話拡充計画の成果として、電話、テレックスの接続は完全に自動化されるとともに、クウェイトは、この分野における中近東での最先進国となっている。しかし、地域により、加入電話需要の増大があまりにも急激であったため、一部には申し込み積滞が生じている。

電話を設置したい場合には、当該地域を管轄するエリアエンジニアのいる電話局の営業窓口に申込む。

電話の使用料は定額制（年間）であり、設置時には、以下の料金の払い込みが必要である。

電話のDEPOSIT	２０KD
設備工事費	１５KD
年間使用料	１５KD
（合　計）	５０KD

次に、燃料としては、都市ガスはなく、すべて、ガスボンベに入った液体ガスを利用している。このガスボンベは、国営スーパーマーケットなどにあるガス店で次の料金で購入することができる。

ボンベ使用料（DEPOSIT）	4.5KD／本
液体ガス（中味）	４００フィルス／本

なお、ボンベとガスレンジとの間のコネクタとゴムホースなどもガス店で購入することができる。

2. 食　　品

(イ) 食 料 事 情

クウェイトは、典型的な砂漠地帯にあるため、農業には極めて不適であり、国内で生産できるのは、鶏、卵、野菜、ミルクの一部分のみである。その他の食品はすべて外国から輸入しなければならない。これらの輸入食料品は、近隣諸国からの生鮮食料品や欧米諸国からの各種缶詰、ビン詰類や、冷凍食品などであるが、非常にバラエティに富んでいる。しかし、野菜、果物、魚、などについては、種類だけは一応あるが、季節により品薄になる場合もあり、味や鮮度の点で十分満足しうるものではない。

これらの内、特に安価と感ぜられるのは、冷凍の牛肉や、食パン、オレンジ、コーラなど一部の食品であり、その他については、日本と同じか若干安い程度と考えてよい。

なお、肉、野菜、果物、魚などの価格はキログラム単位で売られており、日本のような１００グラム単位または個数単位などのきめの細さはない。

アラビア湾における漁業はえびを中心にしていろいろな魚がとれるが、特に日本人にとって有難いのはえびが非常に安価であることと、冬期には、さしみ用のイカやまぐろなどを入手できることであろう。

(ロ) 一般食品の価格（単位フイルス）（1フイルス＝約1円）

品名	数量	価格
米	Kg	200
食パン	個（大）	40
〃	〃（中）	20
〃	〃（小）	10
〃	500g	60
牛肉	Kg	1.300
鶏肉	〃	500
羊肉	〃	800
（野菜）		
キャベツ	Kg	300
人参	〃	300
じゃがいも	〃	250
トマト	〃	250
ねぎ	〃	250
玉ねぎ	〃	300
きゅうり	〃	300
なす	〃	300
レタス	〃	400
大根	〃	300
ほうれん草	〃	500
ピーマン	〃	300
唐辛子	〃	400

品　　名	数　　量	価　格
にんにく	Kg	600
しょうが	〃	750
カボチャ	〃	150
オクラ	〃	600
さつまいも	〃	400
（果　物）		
りんご	1 Kg	300
メロン	〃	300
西瓜	〃	150
ぶどう	〃	400
なし	〃	500
レモン	〃	400
もも	〃	600
オレンジ	〃	400
かき	〃	400
バナナ	1ダース	400
（魚）		
マナガツオ（ZOBAIDY）	1 Kg	600
ヒトミバタ（HAMOOR）	〃	450
ミゾイサキ（NAKROOR）	〃	700
ニベの類（NEWAIBY）	〃	400
ボラの類（MAID）	〃	500
サッパの類（SUBOOR）	〃	550

品　　名	数　　量	価　格
サワラの類(CHANIEDAH)	1 Kg	450
フェダイの類(HAMRAH)	〃	350
アジの類(HAMAM)	〃	400
エビの類(ROBIAN)	〃	350
イカの類(KHETHAG)	〃	500
(その他)		
たまご	1カートン(30個)	1.000
牛乳	1 ℓ	200
バター	個(453g)	350
チーズ	〃(453g)	240
砂糖	1 Kg	275
塩	〃	50
小麦粉	〃	110
クッキー(ビスケット)	箱(141g)	195
コーンフレイク	〃(340g)	335
ジャム	瓶(250g)	320
ハチミツ	〃(500g)	790
コーヒー	〃(113g)	440
ココア	〃(113g)	145
紅茶(リプトン)	缶(225g)	230
角砂糖	箱(454g)	190
マヨネーズ	瓶(460g)	425
ケーキ	1ダース	1.000
オレンジ・ジュース	缶(260g)	75

品　　名	数　　量	価　格
コーン・ビーフ	缶（３４０g）	２７５
トマトケチャップ	瓶（３４０g）	２１０
ソース	〃（２５５g）	１７０
ミネラルウォーター	本	１８０
煙草	１カートン（200本）	８００
スパゲッティー	箱（２２６本）	１７５

（注）上記の価格はすべて平均的なものであり、産地、品質、銘柄および販売店などによりいろいろと差がある。例えばミネラル・ウォーターの場合、１ボトルが銘柄により１４０～２１０フィルスの巾がある。

なお、クウェイトで入手できる日本食品とその価格については、次表に示すとおりである。また、日本食の専門レストランはないが、中華料理店の中には、さしみなどをメニューに加えているところもある。クウェイトはイスラム教の戒律が厳しく酒類は、外交官、国連関係職員以外は禁じられている。

（日本食品一覧）（単位フイルス）

品名	数量	価格
（缶詰類）		
味附海苔	1缶（0.5オンス）	550
もち	〃（370g）	490
しらたき水煮	〃（250g）	330
こんにやく水煮	〃（250g）	275
やきどうふ	〃（250g）	260
奈良漬	〃（450g）	575
おでん	〃（280g）	295
いなりずしのもと	〃（9.88オンス）	310
すきやきのもと	〃（250g）	370
赤みそ	〃（450g）	335
粉わさび	〃（113g）	310
野沢菜油いため	〃（5.75オンス）	210
（瓶詰類）		
つゆの素	1本（12オンス）	350
ブルドックとんかつソース	〃（〃）	350
キッコーマンしようゆ	〃（〃）	225
米酢	〃（〃）	275
江戸むらさき	〃（3.17オンス）	200

品名	数量	価格
ふりかけのり	1本（1.2オンス）	180
たらこふりかけ	（〃）	205
梅干	（6オンス）	340
紅生姜	（〃）	235
味の素	（85g）	300
（乾物類）		
そば、うどん、そうめん	1袋（200g）	115
即席ラーメン	（〃）	115
鳴戸わかめ	（0.7オンス）	235
大葉椎茸	（56g）	620
はるさめ	（150g）	220
浅草のり	（10帖）	650
（その他）		
東京ようかん	1本	410
麦茶	1箱（340g）	150
米（カリフォルニア産日本米）	1袋（36kg）	12,000
即席みそ汁（白、赤）	5袋（1.83オンス）	125
即席お吸物	（0.56オンス）	125

(ｲ) 外　　食

食事はすべてのホテルのレストランを利用できるが、それ以外としては、アラブ風またはインド風の小さな食堂が街中に数多くあるが、一部の例外を除いて、味も日本人向きでなく、衛生状態が悪く、サンドウイッチ程度の軽食しかない。

一般に、アラブ人は家族づれで街中のレストランに出かけるという習慣はなく、しかも利用者はほとんど男のみである。

従って、家族づれで出かけられるレストランは非常に限られてしまう。また単身赴任者の場合も、食事はほとんどホテルのレストランを利用しており、その料金は以下のとおりである。

	上クラス	中クラス	下クラス
朝　　食	1.5KD	1KD	1KD
昼、夕食	3～4KD	2～3KD	1～2KD

日本人向きのホテル以外のレストランとしては以下のものがある。

（昼食、夕食）

BEEFYS（軽　食）

WHIMPY（軽　食）

KENTUCKY FRIED CHICKEN

KUWAITIA TOWERS(KAC BLDING ROOF、音楽、ダンス付）

MARZOUK PEARL（音楽ダンス付）

（夕　食　の　み）

CAESAR' S（中国料理、洋食）

GOLDEN NEST（中国料理、日本料理）

MANDARIN CHINESE（中国料理、UNIVERSAL HOTEL 内）

ARIRANG HOUSE（日本料理、朝鮮料理）

MAXIM' S（洋　　食）

(ニ) 携行すべき食品

特に携行すべき食品は　いが、以下のような日本食品は現在までのところ入手できないので、好みにより携行することもよい。

かんぴょう、白玉粉、あづき、ぬか、佃煮、塩辛、七味唐辛子、かつお節、昆布、胡麻、干物類（するめなど）、日本茶、きなこ

3. 衣類、日用品

(イ) 衣　料　事　情

① 一般的衣料事情

クウェイトにおいては、夏服のみでなく、冬服も必要である。既製服はほとんど欧米諸国からの輸入品であるが、一部に中国製などもある。価格は日本とほぼ同様である。

紳士服、婦人服の仕立屋もたくさんあるが、技術は極めて劣悪である。また布地には日本製のものもあり、大変豊富で

ある。

② 必要とする衣類

男性用……夏は半そでYシャツにネクタイで日本と同じ。
公式の場合には背広着用。
冬は背広で、特に寒い日には、カーディガンやコートなども必要となる。

女性用……夏は長そでの木綿のブラウスとパンタロンが身体の保護に最適である。
冬は薄手のセータにコートなどが必要となる。
公式の場（大使館主催の新年会、天皇誕生日など）には訪問着を着る人が多いが、洋服の場合にはイブニング・ドレスなど。

③ 携行すべきもの

洋服類は、フランスやイギリス製の高級品を除き、日本人のサイズや趣味に合うものは少ないので、必要最小限だけは携行した方がよい。

靴、鞄類は比較的安価で、豊富なので特に携行する必要はない。

(ロ) 日　用　品

すべて現地購入が可能である。ただしカメラだけは価格が高いので、日本製を持参した方がよい。化粧品は日本製（資生堂）のものも入手できる。

(ハ) 乳幼児を同伴する場合の注意

特に問題となるようなことはない。ただ、日本語の絵本や童

謡テープなどを持参するのもよい。

4. 使用人（メイド、コックなど）

メイド（女中）として日本人が雇用しているのは、英語を話せるインド人がほとんどである。雇用方法としては、知人や隣近所の紹介、新聞広告、自薦などいろいろであるが、これらの内で一番安全なのは、知人の紹介である。それ以外は、相手の素生が全く分らないので避けた方が無難である。インド人メイドの場合はパートタイムで何軒も掛け持っている場合も多く、監督を十分行わないと盗難やサボタージュが起りやすい。

給与は勤務時間や仕事内容により、差があるが、住みこみでない場合の相場は次のとおりである。

勤務時間	給与
休日を除く毎日（5時間）	50KD／月額
パート・タイム	500フィルス／時間

使用人としては、掃除と洗濯に1名の女中がいれば十分である。パートタイムのメイドに子守を必要のつど頼むこともできる。

コックについては、技術と仕事内容で差があるが、給与は1カ月当り100KD以上である。

雇用上の一般的注意としては、契約内容を事前に明確にしておくことである。もし、不都合があれば、相手の理解できる理由をつけて、ためらうことなく解雇することが望ましい。インド人メイドは非常に数が多く完全な買い手市場となっている。

雇用に際しては、特に契約書などはなく、口約束が一般的であ

る。

なお、メイドなどとしてクウェイトに入国するには、クウェイト人の保証人（Sponsor）を必要とし、この保証人が一切の責任をもつ制度となっている。

以上のような専属の使用人の他に、アパートの建物全体に1名の管理人が住んでいて、日常の雑用を引受けてくれる。

例えば、敷地内や階段の清掃、洗車、エレベータや電気の故障の手配、買物した品物の運搬、台所の廚芥の処理、その他の雑用などである。日当りの謝礼は洗車に2KD、台所の廚芥に2KDが相場である。

5. 医　　療

(イ) 医　療　事　情

一般的な病気に対しては、次のような国立総合病院が完備され、無料で治療を受けることができる。

サ バ ハ（SABAH）病院　　電話　815000

アミリー（AMIRI）病院　　電話　422121

また、地域ごとに診療所（クリニック）も設けられており、予防注射なども受けることが出来る。私立の総合病院もサルミヤ地区にある。

国立総合病院は原則として急患以外は、午後の外来受付をしないが、私立総合病院は午後も外来の受付を行っているので利用に便利である。

モアサット（MOWASAT）病院　　電話　611533

その他にも次のような専門別の個人医院がある。

歯　科	Dr.M.Z.DAJANI	電話 611887
眼　科	Dr.S.NAWGIRI	電話 510351
小児科	Dr.S.KHAMMAR	電話 420218

病院の医者は、原則として往診は行わず、電話による急救医療（AMBULANCE）サービスが上記の国立、私立の総合病院によって行われている。医者のほとんどは、エジプト人、パレスチナ人、インド人などであり、看護婦にはインド人が多い。病院の設備は一応整っているが、管理体制は悪く、技術も低く患者が望むような高度の治療を期待することはできない。このため、病状が特に悪そうな場合には、可能なかぎり、ヨーロッパが日本で的確な診断を受けることにより手遅れになる前に最善の治療を受けることが望ましい。

クウェイトには、日本人医師はいなく、年に1回健康診断のため、日本人医師による巡回診療が行われている。

また、クウェイトで無事出産する日本婦人もいるが、流産など異常分娩の場合には、病院側の処理の不手際などから命を失った日本婦人の例もあり、必らずしも安全とはいえない様に思われる。

なお、国立病院の治療費は完全に無料となっている。

(ロ) 医　薬　品

クウェイトは完全に医薬分業の形態をとっており、病院に隣接して薬屋が設けられている場合が多い。病院の処方箋により欧米諸国の医薬品を薬屋から買うことができる。従って原則的

には、特に日本から薬を持参する必要はない。しかし、日常使い慣れた保健薬、胃腸薬、その他持病などの薬は、日本から持参すれば便利といえる。

なお、市販の体温計は華氏温度の表示なので、摂氏温度への換算表がないと使いにくいので、日本から摂氏体温計を携行した方がよい。

(ハ) 疾病の種類

風土病的なものは特になく、衛生状態もほぼ良好に保たれている。呼吸器病、眼病、日射病などが一般的病気といえる。

特に、夏期における高温、多湿による身体への悪影響が一番に大きな病気の原因といえる。いわゆる冷房病のため、風邪や神経痛になりやすい。

入国時の予防注射は生後3カ月以下の幼児を除いて天然痘が義務づけられている。コレラと黄熱病は伝染病流行地域を経由する場合に必要である。

(ニ) 健康管理上の注意事項

夏期に直射日光下で長期間いるのは危険である。人々はどこへ行くにも歩くことをせず、自動車を最大限に利用している。

太陽光線が白い砂地に反射して大変まぶしいので、濃いサングラスで目を保護することが望ましい。

また、屋内外の温度差が極めて大きいので、冷房病にかかりやすいがこれに対する予防法としては、昼寝を十分にとり、運動不足にならないように気をつけることにより、体力を減退させないことである。もし、休暇がとれれば、ＪＩＣＡの健康管

理費または一時帰国制度を利用して、最も暑い時期となる7月下旬からヨーロッパや日本に避暑に出かけることが最善の健康法といえる。なお、単身赴任者の場合は、仕事外において気晴しをする場所がほとんど皆無なので、ストレスがたまりやすいので精神衛生面に注意すること。

6. 子弟の教育機関

(イ) 教育制度の概要と教育機関

クウェイトの公立学校の修学年限は、小中高校とも4年制である。また、2年制の幼稚園の他、各種の専門学校、大学なども設けられている。

種　　別	修学年令
幼　稚　園（KINDERGARTEN）	4～ 5才
小　学　校（PRIMARY SCHOOL）	6～ 9才
中　学　校（INTERMEDIATE SCHOOL）	10～13才
高等学校（SECONDARY SCHOOL）	14～17才
クウェイト大学（KUWAIT UNIVERSITY）	18～21才
男子商業高校（COMMERTIAL SECONDARY SCHOOL FOR BOYS）	14～17才
女子職業学校（VOCATIONAL SECONDARY SCHOOL FOR GIRLS）	14～17才
幼稚園、小学校教員養成所（TEACHERS' TRAINING INSTITUTES）	14～17才

中学校教員養成所（TEACHER' TRAINING (COLLEGES)　18～19才

聾　学　校（SPECIAL EDUCATION (SCHOOL)　6～13才

男子宗教学校（RELIGIOUS INSTITUTE)　6～17才

上記の公立学校においては、月謝、教科書、給食、制服、医療、通学バスなどすべて政府負担となっている。学生のほとんどはクウェイト国籍者であるが、エジプト人、ジョルダン人などの外国人も一部在籍している。また特に、中学校以上になると教員はほとんどエジプト人などアラブ系外国人で占められている。高等学校の卒業者には一斉に試験が行われ、成績優秀者は国費で欧米の大学に留学できる。

この他、外国人子弟のための教育機関としては、クウェイト文部省の監督のもとに、私立の外国人学校（アラブと非アラブの区別がある）が数多く運営されている。また生徒数が５０名以下で小規模の場合には、大使館附属学校として、クウェイト文部省の監督を免除されている。

(ロ) 通常専門家の子弟が利用している教育機関

クウェイト日本人学校は大使館附属学校として、１９７２年4月３０日に設立された。１９７６年１０月１３日現在における在籍者数は幼稚部２０名、小学部６８名、中学部７名の合計９５名となっている。

日本政府派遣の教員数は９名であるが、その他、現在採用教

員が３名となっている。学期制は日本と同じであるが、長期休業としては、次のとおりである。

７月　１日～８月３１日　（夏　季）

１２月２７日～１月　３日　（冬　季）

休業日は１月１日（元日）、４月２９日（天皇誕生日）、５月５日（子供の日）の日本国祝祭日（約９日間）に合せている。

クウェイトでは、陰暦を基礎としたイスラム暦が使用されており、陰暦の１カ月は、新月までのおおよそ２９.５日なので１年は３４５日となり、グレゴリー暦（太陽暦）より１１日短かい。従って、太陽暦の月とは異なり、回教暦上の月は季節とは関係ない。２月２５日のナショナルデー（１９６１年６月１９日に独立国となったのでクウェイト独立記念日ではないが、６月では暑さが厳しいので２月にしている）の他は年により、クウェイトの祝祭日の日付は異なるが以下のものがある。この内断食月（ラマダン）明けの祭日は日本のお正月に相当する。

- イスラム暦新年（ムハラム；第１月目）
- 予言者モハマッドの誕生日（ラビイ・アルアーワル；第３月目１２日）
- ラマダン明け大祭（Id Al-Fitr）（シャワール；第１０月目１～３日）
- 犠牲祭（Id Al-Adha）（ズーアルヒッジャー；第１２月目１０～１３日）

最近における児童、生徒数の急激な増加にともなって在籍者

数が５０名を越えたため、１９７７年４月から、クウェイト日本人学校の法的地位（ステータス）が、従来の大使館附属学校から一般の私立外国人学校に変更される。

なお、日本人子弟で高校生については、アメリカン・スクール（幼稚園から高校まで男女共学）を利用している場合もある。

日本人学校	2304, SAFAT (%EMBASSY OF JAPAN)	715485
AMERICAN SCHOOL OF KUWAIT	6735, HAWALLI	718511

(ｲ) 授　業　業

日本人学校の授業料は幼稚部、小中学部とも１名、１カ月当り２０ＫＤである。その他、教材費、ミルク代、ＰＴＡ会費などとして１名、１カ月当り５ＫＤ程度必要である。

なお、日本人学校の派遣教員および校舎の借料は日本政府負担となっている。

(ﾛ) 通　学　方　法

スクールバス（３台）を全員が利用している。バス代は授業料に含まれている。

(ﾊ) 通　学　時　間

１５分～４０分。

(ﾆ) 給　　食

な　し。

7. 娯 楽 設 備

(イ) 保養地、ゴルフ、ボーリング、映画等

いわゆる保養地の様なところはないが、自然のままの美しいアラビア湾の海岸で、海水浴や魚釣を楽しんだり、砂漠に草花のの咲く2月中旬から4月中旬には家族づれでピクニックに出かけることができる。

クウェイト人は海に面した別荘や砂漠でのキャンプ用のテントなどを持っていて、その時期になると家族づれで出かける習慣をもっている。

クウェイト市の沖合にあるファイラカ島には、アレキサンダー大王時代の小さな遺跡があり、簡単に日帰の船旅を楽しむことも出来る。

ゴルフ場も数カ所あるが、すべて会員制となっていて、日本人の場合には、殆とんど交通の便利な KUWAIT DESERT CLUB に入会している。このコース（9ホール）は日本人が設計したもので、小石が多いオールバンカーの砂漠コースではあるが、適当に起伏もあり、変化に富んだコースといえよう。

KUWAIT HILTON 内には、会員制のボーリング場、テニス場がある。一般大衆の娯楽として映画が一番楽しまれており、非常に安い料金（250フィルス）で最新の洋画を楽しむことができ、また、自動車に乗込んだまま映画を楽しむことのできる DRIVE-IN も郊外にある。カラーテレビによっても、欧米のテレビ映画などを楽しむことができる。

(ロ) 通常の余暇の過し方

クウェイトは、歴史的、文化的な環境に極端に乏しく、また自然環境も夏期は厳しいので、気軽に余暇を有意義に過せる場所を見つけるのは困難である。飲酒も禁止されているので、特に単身赴任者の場合には、余暇の過し方が問題となる。

一般にアラブ人は、コーランの教えに従って、親戚、友人、知人などをお互に訪問し、お茶などを飲みながら時間を過ごす習慣をもっている。また、多少余談になるが、イスラム教徒は毎日5回の礼拝を以下のように決まった時刻に行わねばならない。モスク（イスラムの礼拝堂）に集まるか、それぞれの場所で、一定の方向すなわちメッカの町にある聖域のカーバ神殿の方向に面して独得の方法で礼拝（約10分間）を行う。ある説によると、この礼拝は砂漠での単調な生活にリズムを与え、顔や手足を洗うので衛生的で、運動不足を解消する上で効果的という。

- 早朝の礼拝（ファジル）日の出前約1時間から30分前
- 昼の礼拝（ズフル）正午を少し過ぎた時刻
- 午後の礼拝（アッスル）昼過ぎと日没後の礼拝の中間頃
- 日没後の礼拝（マグソブ）太陽が地平線に没して間もない時刻
- 夜の礼拝（イッシャー）日没後の礼拝後約1時間半から夜半にいたる迄の時刻

しかし、日本人は以上のようなアラブ人一般の習慣は持っていないので、次項に示すようなクラブに入会するか、麻雀、ブ

リッジ、囲碁などの屋内ゲームを楽しむことなど、各人が創意工夫するしか方法はない。

(ハ) 日本人クラブ、スポーツクラブの有無、料金

クラブ名	料	金
日本人会	法人会費	年額 30KD
	個人会費	(1)家族月額 1.5KD
		(2)単身者月額 1KD
KUWAIT DESERT CLUB (ゴルフ)	入会金	5KD
	年会費	15KD
	コンペ参加費	2.5KD
KUWAIT SEA CLUB (プール、ヨット、テニス)	ビジター利用料金(休日)	
	大人	2KD
	小小人	1KD

8. 電　　力

1954年に国営電力会社が設立されて以来、年々電力設備が拡充され、日本の東芝、大成建設、IHIなどが参加して、大火力発電所も建設されており、十分な送電能力をもっている。

夏期において一旦、停電が起ると、冷房(クーラー)が停止するため、昼間のオフィスであれば、臨時休業するしか方法はない。

以前は、停電することが多かったとのことであるが、最近では、

送電設備が逐次改善されつつあるせいか、一部の地域を除いて極めてまれとなっている。

一般家庭用	240V	50C/S	単相
動力用	415V	50C/S	3相

9. 交　　通

(イ) 交通事情

クウェイトに登録されている車の台数は現在約40万台にも達しており、クウェイト人一家には車が3～4台もあるのが、めずらしくないほど普及率が高い。クウェイトの都市計画は自家用車を前提に作られており車なしの生活は考えられない。従って、主要交通機関は自家用車ということが出来る。これは、夏期には50℃にも達する高温のため、戸外を歩くことが出来ないことにもよっている。

公共交通機関としてのバスもあるが、クウェイト輸送会社（KTC）によるバスの運行は、運行台数が少なく、時間も不定期で、整備も悪くサービスは非常に悪い。ただ料金だけは安いので、利用者は、出稼ぎ外国人のうちでも所得が低く、自家用車を買えない層が利用しているのが実体である。最近では、利用区間や利用時間帯によっては、女性も利用しているのが、よく見うけられるようになった。

クタシーもかなり走っているが、メータはなく、走行ルートにより集合方式もできることになっている。また次のような電話呼出しのハイヤー会社もある。

GULF TAXI COMPANY (24時間サービス)電話411450

また、荷台のついた小型トラックも走っており、ピックアップまたは7ネットと呼ばれタクシー替りにも利用できる。

派遣専門の場合は通勤も含めて、業務用には、運転手つきの公用車を利用することができる。しかし、買物などには自家用車が不可欠である。

一方、道路は平坦で、完全に舗装されており、市内の幹線道路はすべて中央分離帯で仕切られており、3車線の一方通行路となっている。交叉点は信号なしのラウンドアバウト方式が多いが、近年における車の急激な増加に対処して、信号待ち合せ方式に切替工事が集めており、近い将来には立体交叉の道路も計画されている。水銀ランプにより道路の照明は行われており市内の幹線道路は、日本の高速道路のような感じである。

しかし、通勤時間帯には、非常に車が渋滞し、ノロノロ運転となってしまうことが多い。

交通標識は完備されているが、無謀、未熟運転が多く、大事故が頻発している。日本との逆の右側通行なので、慣れるまでは、注意深く運転しなければならない。

車種としては、一部の英国車、フォードなどがアラブボイコット法により輸入禁止となっているが、その他世界のほとんどあらゆる車種が輸入されている。まるで自動車の国際見本市をみているようなものである。

交通事故の取扱いとしては、示談ですぐ済ませる場合もあるが、原則として交通警察官の立合いのもとに調書を作成しても

らい、保険で事故補償する手続をとる必要がある。

車の保険会社には数社あるが、次に一例を示す。

KUWAIT INSURANCE COMPANY 電話420021

保険は1年更新で、コンプレヘンシブと第3パーティの2種類がある。車を月賦購入する場合には、強制的にコンプレヘンシブに加入させられる。

なお、交通事故に伴う救急医療費などは、国立病院の場合は無料である。ただし、技術は未熟で脳波の検査などは行われていない。

(ロ) タクシー、ハイヤーの利用料金

タクシー料金は、クウェイト市内は250フィルス、空港から市内までは1.5KDが相場である。

ハイヤー料金は利用方法により異なるが、片道1回かぎりの場合は、1.5KD定額である。

(ハ) レンタカー

クウェイトの運転免許証と25KD程度の保証金を準備すれば簡単な手続で好みの車を借りることができる。

次にレンタカー会社の一例を示す。

TOYOTA RENTA CAR (KUWAIT SHERATON 内)

車　種	1日当り料金(KD)	1カ月当り料金(KD)
COROLLA(A/C)	3	75
MARK-I (A/C)	4	85
MARK-II (A/C)	4.5	90
CROWN (A/C)	5.5	115

なお、上記の例よりも割安な会社もあるので、住居に近い場所にある会社をいろいろと訪ねてみること。

(二) 自動車購入、売却

① 購 入 方 法

各エージェントディラーから即金または月賦により新車を購入することが出来る。即金の場合は、若干の値引きが可能である。

シャーク地区にあるノンエージェント・ディラーから新車を購入する場合は、エージェントより２０％～３０％割安であり、アメリカ、ドイツ車などを販売しているが、アフターサービスはない。

上記いずれの場合も、購入契約後２日間で新車を引き取ることができる。

次に中古車を購入する場合には次のような方法がある。

a 個人、友人より購入する。

b 新聞広告をみて購入する

c 市内、シャーク等の中古車売場から購入する

d 政府指定の野外競売場（ハラージマーケット）から購入する。

なお、ハラージマーケットにおいては、毎日夕方４時ごろから日没まで競売を行っている。売却希望者と購入希望者が集って、政府指定の呼び込み人が、だんだん値段をせり上げていき落札する。売主は呼び込み人に手数料を２０ＫＤ程度支払う。買主は手付金約１／１０程度を支払い車を受け取

る。翌日または2～3日内に売主、買主とも交通局（DEPARTMENT）と保険会社へ行き車の登録替えの処理を1日で行う。車の登録替えが完了したら残金を支払う。なお、車を受け取った後での苦情は一切行えないことになっている。

最近、新車価格が高騰しているため、中古車も値上がりしているが、それでも比較的安く購入できる。しかし、車の程度をよく吟味しないと修理費がかさむ。スペアパーツ、修理工場も完備されているが、技術レベルは低く、修理費は高い。

修理工場はシュエイク地区とシャーク地区に集中している。

車輛登録ならびに保険の更新は一年ごとに同時に行う。新車から3年間は車検なしで更新できるが、それ以降は更新時に簡単な車検（ブレーキなど）を受けなければならない。

② 免税輸入特権について

外国からの車の持ち込みは自由である。車が到着したら、直ちに保税倉庫に保管され事務手続が行われる。税金4％を支払いの後入手できる。中古車、個人使用の車の持ち込みは問題ない。しかし、新車を日本または外国へ注文して持込もうとする場合、普通は、外国メーカとクウェイト・エージェントとの契約事項に抵触するため、メーカ側が売却しないことが多い。

③ 帰国時の売却方法

中古車購入時の逆を行う。売り急くと安くなるが、一般に日本人の乗っている車は整備が良いことなどから比較的高く売れる。また車種により、減価率が異なっている。

④ 現地代理店

新車と中古車の相場およびクウェイト・エージェントについて、国別、車種別に次表に示す。なお、中古車価格は3割程度の増減巾がある。

(ホ) 運 転 免 許

① 国際免許証の有効性

国際免許証は通用しない。日本の免許証または国際免許証により、必らずクウェイトの免許証を取得するための手続をしなければならない。

② 免許取得の方法、経費等

日本の免許証を大使館に持参し、3KDの手数料を支払って、英文による内容証明書を作成してもらう。

次に、アラブ人に依頼して、申込みの所定用紙にアラブ語で必要事項を記入し、日本の運転免許証、内容証明書の他に、写真2枚を添付して交通局の窓口に提出する。

派遣専門家の場合には、無試験で書き換えが可能であり、クウェイトの免許証は申込み後1カ月程度で取得できるが、その間は仮免許証で運転できる。

日本の免許証を持参せず、当地で取得する日本人もいるが、試験にパスするまでに非常に時間がかかっている。

(ヘ) ガソリン代

1ℓ当りレギュラー15フィルス、スーパー25フィルスである。ディゼル油もあるが一般的でない。

蓄電池用蒸留水はガソリンスタンドで無料で入手できる。道路税、車輌取得税などはない。

国名	メーカ	クウェイトエージェント	車名	新車価格（KD）	中古車価格（KD） 73年モデル	71年モデル	備考
Japan	Toyota	Naser & Sayer	Crown 2600	2,000	800	500	A/C
			CrownⅡ 2000	1,600	750	450	A/C
			Corona 1800	1,400	600	400	A/C
			Carolla 1400	1,100	450	300	
	Nissan	Babten	Datsun 2600	2,000	800	500	A/C
			BlueBird 1800	1,400	600	400	A/C
		Shawafu	Skyline	1,600	750	450	A/C
	Mazda	Kuwait National	929	1,700			
			828	1,300			
	Mitsu-bishi	Bader Al Mullah	Gallant	1,400			
			Lancer	1,000			
	Honda		Civic				
W.German	B.M.W	Kuwait National	BMW520	2,800			
			〃 320	2,400			
			〃 316	2,200			
	Mercedes Benz	Bisher & Al Kzjemi	280S	4,000	2,500	(oldmodel) 1,000	
			200	2,800	1,500	900	
	Vorks Wagon	Behbehani	Beatle	1,000	450	250	ブラジル製もある
			Passatt	1,500			
			Golf	1,300			
			Audi 80	1,300			
	Opel	Yousut	Opel Record	1,700			

国名	メーカ	クウェイトエージェント	車名	新車価格（KD）	中古車価格（KD） 73年モデル	71年モデル	備考
W.German	Opel	Al Ghanem	Opel Kadet	1,200			
France	Renault	Kuwait National	16TS	1,600			
			17TS	1,700			
	Peugeut	〃	504	2,000			
			404	1,600			
	Citroen	Sultan	CX2200	2,000			
Italy	Fiat	Galabali	132GS	1,600			
	AlfaRomco	Sultan Hamoai		2,000			
U.K			Vauxaul	1,700	700	400	
			Sunbeam				
			Chrysler				
			Roles Royce	12,000	—	—	
Sweden	Volvo	Muttawa	6Cyclinder	3,000			A/CAuto
			4Cyclinder	2,000			〃
U.S.A	G.M	Behbehani	Buick Century	2,800	1,200	600	A/CAuto
			〃 Skyhawk	2,200	—	—	
		Al Ghamem	Oldsmobile 98	3,400	1,200	600	A/CAuto
			Chevorkecabres	3,000	1,000	500	
			PontiacgradPrix	3,000	1,000	500	
		Bader Al-mullah	Plymouth	2,700	900	400	
			Doudae Durt	2,600	800	400	

10. 為　替

(イ) 相　場

クウェイト・ディナール（ＫＤ）は、かなり安定しており、他の貨幣（日本円も含む）との交換は銀行のみでなく、町の両替屋でも簡単に行うことができる。交換レートは変動相場制で、毎日の英字新聞（KUWAIT TIMES など）に掲載されている。外貨の持出し、持込みは全く自由で、空港でのチェックは全く行われていない。

１クウェイト・ディナール（ＫＤ）＝約1,０００円

１フィルス（Ｆｉｌｓ）＝　約１円

なお、紙幣（ＫＤ）には１０，５，１，1／2，1／4の５種類、硬貨（Fils）には１００，５０，２０，１０，５，１の６種類が用いられている。

(ロ) 対日送金

銀行で必要な手続をすれば、アメリカの銀行を経由して東京銀行などの口座に振込むことができる。この場合、送金手数料が必要であるが、外貨の割当などの制限はない。

(ハ) 滞在費等の受取方法

クウェイトの銀行に口座（U.S.DOLLARS ACCOUNT）を開設し、小切手帳（CHEQUE BOOKS）を受取るとともに、ＪＩＣＡに対し、銀行名、住所、口座番号を通知する。

JICA から銀行に入金があると、専門家のＰ.Ｏ.BOX あてに銀行から入金通知書（CREDIT NOTE）が送られてくる。銀行の窓口に行き、小切手帳に所要ドル金額を記入して

当該日の交換レートにもとづきクウェイト・ディナールを受取る。銀行にはいろいろあるが、日本大使館と同じビルにある。以下の銀行支店が専門家には便利である。

≪日本からの送金先≫

THE NATIONAL BANK OF KUWAIT S.A.K

所在地　AL-SOUR STREET BRANCH

P.O.BOX 20597 , SAFAT

STATE OF KUWAIT

この他、THE COMMERCIAL BANK OF KUWAIT などは支店により夕方も窓口が開かれるので、住居の場所からみて便利な支店にすることもよい。

(ニ) 現地の銀行口座開設手続

銀行の支店長(MANAGER)に面会し、パスポートを提出して必要な手続をとればよい。保証人やDEPOSITの必要はない。なお、クウェート・ディナールの普通預金口座(SAVINGS ACCOUNT)も同様にして簡単に開設でき、若干の利息もつく。

11. 出入国管理

(イ) 税関検査

① 一般事情

入国時の税関検査は一般に極めて緩やかである。特に専門家として入国する場合には、クウェイト政府関係者の立合があれば殆とんど検査なしで済ますことができる。

② 持込禁止品

アルコール類、麻薬、雑誌（ヌード写真など）の持込は厳しく禁止されている。

③ 入国に際しての注意事項

クウェイト入国には必らずビザを事前にとっておく必要がある。なお、パスポートにイスラエルのビザがあれば入国は認められない。

④ 帰国に際しての注意事項

特になし。

⑤ 持出禁止品

特になし。

(ロ) 外人登録の有無

専門家として長期滞在の場合は、所属省庁を通じてレジデント・ビザを内務省（Ministry of Interior）から取得しなければならない。ビザの更新の手続も同様である。

なお、3カ月以上の滞在期間の場合には、日本大使館へ在留届を提出しなければならない。

(ハ) 任国外国旅行上の手続き、注意

レジデント・ビザがあれば、再入国のためのリエントリー・ビザを取得する必要がなく、何回でも再出入国できる。

専門家は公用旅券なので、あらかじめ渡航先に入っている国以外に旅行する場合には渡航先の追記を日本大使館に申請しなければならない。また、滞在中に休暇などで国外に出たい場合には、所属省庁の次官名で空港あての休暇承認書を準備

して出国時にパスポートと一緒に空港の係員に提示しなければならない。

12. 便宜供与

(イ) 便宜供与の種類

① 住宅手当等の現金供与

現金供与は行われていない。

② 出張旅費、公用車の提供、ガソリン代

現金供与は一切ないが、政府提供の車または船を利用することができる。

③ その他（住宅提供、現物供与等）

1.(ロ)ですでに述べたとおり、家賃が異常に高いので、JICAの住宅手当の限度額では適当な住宅の確保は困難である。専門家の場合は政府職員アパートに入居することを前提とする必要がある。現物供与は事務用品以外は特にない。

(ロ) カウンターパート、通訳

英語の普及度が高いので、通訳は特に必要ない。専門分野により多少事情は異なるが、政府機関に働らくエリートのクウェイト人エンジニアは非常に少なく、実務の経験年数も短かい。彼等は一般に管理職としての立場で、多数の外国人を使って巾広い仕事を担当する場合が多く、派遣専門家に専属するカウンターパートとして、特定の技術を専門的に修得するほどの時間的余裕もなく、意欲もあまり強くない。

しかし、各省庁に附属した訓練センターなどを卒業した若い

クウェイト人テクニシャンは数も多いので、カウンターパートとして技術指導することは可能であるが、能力や意欲の面で問題があり十分な成果を上げるのは容易ではない。一方、エジプトなど近隣のアラブ諸国からは多くのエンジニア、テクニシャンが出稼ぎに来ているので、技術協力の対象範囲をアラブ圏全体という広い次元で考えれば、カウンターパートとして技術指導するに値する人材を見出すのは可能である。

なお、政府機関の勤務時間は下記のとおりである。

（冬期）土曜日から水曜日まで：午前7時30分～午後1時30分

木曜日　　：午前7時30分～午前11時

（夏期）土曜日から水曜日まで：午前7時～午後1時

木曜日　　：午前7時～午後10時

(ハ) 免税特権

関税は生活必需品、開発関係資材などの輸入物品に対してはすべて免税されている。

13. 通信・運輸

(イ) 郵便事情

① 安全性、配達システム（各戸，P.O.BOX等）

戸別の配達制度はなく、各自のP.O.BOXを設けなければならない。専門家は日本大使館気付（C/O Embassy of Japan，P.O.BOX 2304，SAFAT，State of Kuwait）とするのがよい。

個人で、P.O.BOXを申し込みたい場合は、P.O.BOX

番号に空のある最寄の郵便局（約４０カ所）に行き、使用料として１カ年間につき３ＫＤと鍵の使用料（Deposit）として１ＫＤを支払えば直ちに利用することができる。

日本からの小包を引取る場合はＰ．Ｏ．ＢＯＸあてに赤色の到着案内通知カードが郵便局から送られてくるので、シーフ・パレスの横にあるParcel Delivery Sectionまで身分証明書を持って行く必要がある。小包のあて先が大使館気付の場合はフリーパスとなっている。

② 電信電話サービス

電話は１００％ダイヤル即時化されている。電話の申し込みは営業窓口の設置されている最寄の電話局（６カ所）に行き、１年間の使用料１５ＫＤと取付工事費１５ＫＤおよび保証金（Deposit）２０ＫＤの合計５０ＫＤを支払う。ただし、加入電話の申し込み積滞が多い地域では申し込んでもすぐにはつかない。

日本への国際電話は104番へ申し込めば、１時間以内にはオペレータにより接続され、指名通話、料金着信者支払も可能である。ただし、日本との時差が６時間もあり、クウェイトの朝７時は日本時間の午後１時となっている。

また、加入電話（テレックス）は日本とダイヤル接続されており、相手不在や時差の心配もなく、料金も安く、利用上便利である。

③ 手紙、電報の日本・現地間の所要日数

手紙類は7～10日間程度。電報は２日間程度。

④ 主要地方都市との連絡方法

電話の接続は迅速、確実で明瞭なので連絡はすべて電話ですむ。また、道路網が発達していて小さな国なので自動車で1～2時間程度で大抵のところへは行くことができる。

14. 言　語

(イ) 公用語、英語その他第1外国語の普及度

クウェイトはかって英国の保護国であったこと、高校卒業者のうち優秀者を多数欧米の大学に国費留学させていること、英語を母国語とするようなインド人労働者が多いことなどの理由により、話し言葉としての英語は、日本とは比較にならないくらい広く普及している。

このため、英語の4で会話をし、相互の意志を通じ合うことは一応可能といえる。しかし書き言葉すなわち文書や書類になると、ほとんど公用語である。アラビア語のみで処理されることが多い。アラビア語と英語が併記される場合も見うけられるが、ほんの一部分である。このようなことから、専門家として仕事をする上でアラビア語の読解力が望まれる。

なお、近隣諸国のうち、レバノン、シリア、チュニジアなどは、フランスのもと植民地であった関係で、その出身者はフランス語は話せるが英語はほとんど語せないという人達が多い。

(ロ) 現地語事前学習の必要性

欧米人はどちらかというと、かっての植民地の言葉であった

アラビア語を軽視しがちである。しかし、日本人としては、この点では追従することなく、英語のハンディを補う意味においても、現地語であるアラビア語を重視することが望ましい。

アラビア語の予備知識が少しでもあれば、短期的には着任当初の生活の不便が多少なりとも緩和される可能性が大きく、また長期的にはアラビア人との相互理解を増進させる上で効果が大きくなることが期待できる。

(ハ) 語学学習の施設、受講時間等

外国人のためのアラビア語の講習を行っている施設の例を以下に示す。

KUWAIT EDUCATIONAL CENTRE 電話717259

- 週3回30時間コース（午後7時～9時）
- 毎日コース（午後4時～6時など）

15. 気　候

(イ) 概　況

クウェイトは赤道直下にある常夏の国とは異なり、その気候は4月～10月の夏期と11月～3月の冬期の2季にはっきりと大別されている。年間を通じての寒暖の差が非常に大きく、夏期の最高温度は50℃、冬期の最低温度は0℃である。（月別平均気温変化表参照）

また、年間降雨量は年により20㎜～270㎜とバラツキが大きいが、平均すると約100㎜である。降雨は季節の変目

に多く、夏期には一滴の雨も降らない。また、この地方特有の砂嵐（トーズと呼ばれている）が季節の変目にしばしば発生する。これは遠くの砂漠で吹き上げられた細かい砂塵が風に運ばれてくるものである。

砂嵐になると、街の中は砂で覆んだようになり、いつもは強烈に輝いている太陽もまるで月のように白くにぶく光るようになり、昼間でも自動車はヘッドライトをつけてノロノロ運転になるほどである。

(ロ) 夏　期

クウェイトの夏は暑くて長い。この暑さの程度は経験してみないかぎり理解することは出来ない。４月上旬にはすでに日本の真夏の暑さとなる。特に６月～８月における日中の最高気温は日陰でも５０℃、直射日光下では７５℃にも達する。

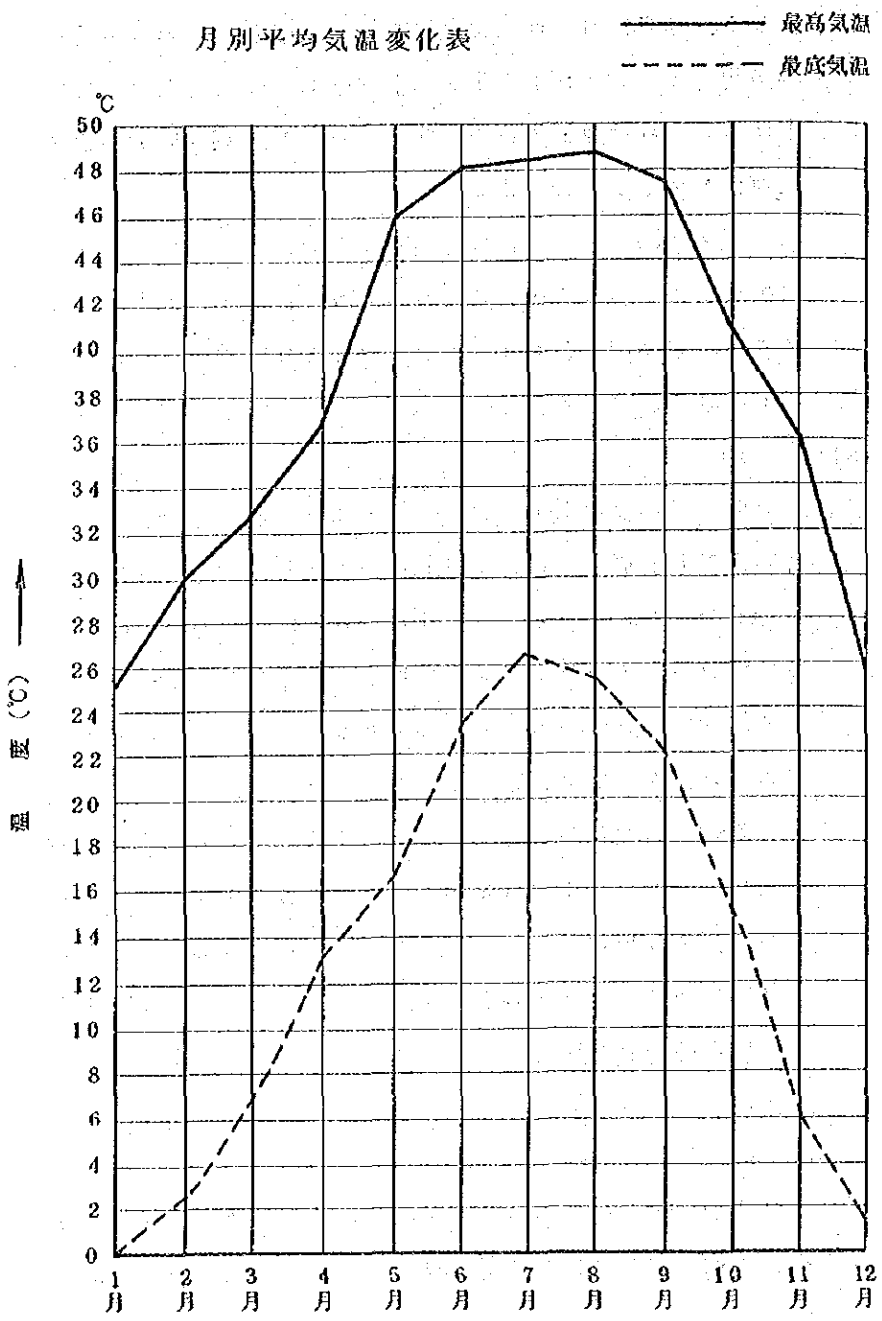
また雨が降らないのはもちろんであるが、一片の雲さえ見かけることがなくなり、完全な晴天が毎日続く。

このため、夏期には冷房（クーラー）なしでは暮すことができない。クウェイトは住宅用クーラーの普及率が世界一といわれるほど室内はすべて冷房されている。しかし、日中の最も暑い時間帯にオフィスから帰宅するときに乗る車の内はサウナ風呂のような状態となり、体中が汗まみれになりがちである。

(ハ) 冬　期

１２月～2月には気温が下がり、暖房（ヒータ）が必要となる。しばしば集中的に大雨が降り、地域によっては道路が洪

月別平均気温変化表


最高気温
最底気温
℃
50
48
46
44
42
40
38
36
34
32
30
28
26
24
22
20
18
16
14
12
10
8
6
4
2
0
温度（℃）
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月

水となることもある。また、冷たい北風が強く吹いたり、雷が発生して雹（ひょう）が降って来たりすることもある。特に冬期から夏期への変目には、天候が極端に変りやすい日が多い。しかし、全般的にみると、気候は温暖で雨も降らず、晴天つづきである。特に２月～３月はベストシーズンといわれており、草花も美しく咲き、大変に快適な毎日となる。

なお、冬期には屋外スポーツが可能となるので、ゴルフなども楽しむことができる。

16. 治　安

(イ) 一般情勢

アラブはイスラエルと戦争状態がつづいており、クウェイトにも多勢のパレスチナ難民がいる。また、レバノン内戦にともなっても多くの人々が避難して来ている。

しかし、クウェイトは政治的に安定しており、治安状態は良好に保たれている。小さな国なので明日のことは分らないという不安感は常につきまとっているが、次のような理由でレバノンなどとは国情を異にしている。

すなわち、クウェイトに在住の外国人はすべて高い賃金を求めて集って来た出稼ぎ労働者なので、現在の生活を失いたくないという気持が強く、社会不安を作り出すような非合法活動に参加する人はほとんどいないように見うけられる。すべての犯罪行為は外国人にとっては国外追放を意味するので、外国人による犯罪は非常に少ない。

また、クウェイト政府はクウェイト人に対しては無利子での住宅資金の融資など過保護とも思われるほどの超福祉政策を進めており、これによって任所得層のクウェイト人からの不満を解消しようと努力している。

(ロ) 夜間外出上の注意

深度での運転外出の場合には官憲によるチェックが多いので常にパスポート、身分証明書、運転免許証を携行しなければならない。特に飲酒してふらふら歩いたりすることは避けなければならない。

(ハ) 緊急時における大使館または駐在員との連絡方法、集合場所および要領

緊急時には日本人会名簿にもとづく連絡網が作成されている。現在の大使館には集合する場所は全くないので、万一の場合には自宅に待避するしか現在までのところ方法はないように思われる。

17. その他

(イ) 対日感情、現地人気質

① 対日感情

クウェイトと日本との関係は特に経済面で非常に活発であり、輸出入額でみると日本が第1位を占めている。街を走る自動車の5台に1台は日本製であり、テレビ・ラジオなどの電化製品も日本製が非常に多い。

このような日本の経済進出に対して東南アジアなどで見ら

れるような反日的な動きは全くなく、極めて友好的である。

しかし、日本の文化面に対する理解や関心は一般に低く日本人とみると柔道、空手を思いうかべたり、中国語をしゃべれるかなどという程度の質問をする人が多い。

このような背景のもとに、クウェイトに居住する在留邦人数も年々急速に増加しており、１９７６年１０月現在では約６００名に達している。また、日本を訪れるクウェイト人も最近増えており、これらの人々を通じて日本に対する認識は除々に深まりつつあるように見うけられる。

例えば、電気通信技術の分野でみると、クウェイト人エンジニアのほとんどは研修や会議などで日本を訪れた経験をもち、日本に対する理解も深く、友好的な態度を示す人が多い。

② 現地人気質

クウェイトに国家としての基礎が形成されたのは１８世紀初頭にアラビア半島中央部から現在の首長（アミール）家であるサバーサ家を中心とした一族がクウェイトに移住してきたときに始まるといわれている。

主に貿易、帆船建造、漁業、真珠採取を中心に発展して、１８世紀末頃にはアラビア湾における重要な国際都市となっていった。１８９９年に至り、正式に英国の保護国となり、これによって以降の６２年間にわたって国土を安全に保つことができた。

クウェイトは第２次大戦が終って１６年もしてやっと英国

との保護条約を廃棄して安全な独立国となった。その間、１９３８年にはブルガン地区に大油田が発見され、１９５０年代には莫大な石油収入をもとに、近代的福祉国家の建設が着手され、わずか１０数年の間に高層ビルの林立する近代都市へと変貌することとなった。

旺盛な建設活動に伴って近隣諸国からの人口流入が著しく、次表に示すごとく人口は１０年ごとに倍増している。また人口の過半数は外国人という世界でもまれな国となっている。

人口増加の推移

年	総人口（人）	クウェイト人（％）	非クウェイト人
２０世紀初期	36,000	—	—
１９３７	75,000	—	—
１９５０	150,000	—	—
１９５７	207,000	114,000（55％）	93,000
１９６１	322,000	162,000（50％）	160,000
１９６５	467,000	220,000（47％）	247,000
１９７０	739,000	348,000（47％）	391,000
１９７５	991,000	469,000（47％）	522,000

これら過半数を占める非クウェイト国籍の外国人によってクウェイトは平和で活気にあふれた国際都市となっているのが大きな特徴といえる。

国籍別人口概数（1976年7月現在）

国　籍	人　数
クウェイト人	469,000
ジョルダン人 （パレスチナ人を含む）	280,000
シリア人	60,000
エジプト人	50,000
イラク人	35,000
レバノン人	28,000
サウジアラビア人	5,000
オマーン人	3,200
イラン人	45,000
インド人	45,000
パキスタン人	35,000
米国人	5,000
英国人	3,000
日本人	570
仏　人	400
西独人	200

以上のような歴史的な背景のもとに、クウェイト人気質などの特徴をみると次のようなことがいえよう。

i）イスラム教が日常生活にまで深く入りこんでおり、風俗、習慣やものの見方、考え方において、日本人の理解を越え

たものがある。このイスラム教の伝統に対してクウェイト人は保守的である。

ii) 親子兄弟同族間の結束は固く、どのファミリー（父系）に属しているかなどの私的関係が重視される。公的関係においても日本のような相互信頼関係にもとづく約束ごとで処理せず、ささいなことでも文書による契約関係が重視される。

iii) 同じクウェイト人といっても主体を占めるサウジアラビア系の他にもイラク系、イラン系などもあり、その身体的特徴のバラツキが非常に大きい。白人や黒人的な感じの人も多いが、平均的にみると色薄黒く、毛深い人達といった印象となる。また発展途上国の特徴として貧富の差が非常に大きく、教育レベル、職業などにより生活レベルが異なり社会階層が大きく分れている。

iv) 政府機関などにおける仕事の能率は驚ろくほど悪い。すべての権限は一部のクウェイト人に独占されており、外国人はその下で使役される体制となっている。しかし、クウェイトの賃金は近隣諸国に比べてケタ違い高いので外国人は1年契約となっている雇用期間の更新ができるように仕事上での個人的ミスのみを最大限に避けようとする。一方クウェイト人も外国人のいうことは簡単には信用せず、仕事の進め方は慎重で、日時を要することが多い。しかし、世界の新しい技術の導入に対しては極めて熱心である。

このような外国人に対するガバナビリティ（統治能力）と

いう面において、クウェイト人は非常に優れているということができる。

v) 外国人というものに対する考え方が日本における場合とは全く異なっており、自国の人材不足を補う必要性から外国人を雇用し、その労働力のみを最大限に活用しようとしている。しかし、これら外国人がもってくる異質の文化や習慣に対しては、イスラム教にもとづく各種の法律などで自国民に対する影響を排除しようとする。このようなことは派遣専門家に対してもその例外ではありえない。

vi) クウェイト人は一般に温和で、忍耐強い性格をもち、社交上の礼儀作法を重視する人が多い。特に服装には大変気をつけており、初対面の人には大変親切で愛想がよいが、利害が対立すると大変厳しい態度をとることが多い。

(ロ) 新聞、雑誌等

海外新聞普及株式会社(東京都港区芝浦2－9、電話435－8311)に希望する新聞、雑誌、図書を予約すれば、海外発送を引き受けてくれる。この会社は世界各地に支店があり、クウェイトの場合はHAMBURG支店からの日本の新聞が4～5日の遅れで送られてくる。クウェイトには日本語雑誌などの販売はない。カラーテレビおよびFM音楽放送の使用周波数帯は日本とは異なっているので、日本から持参した受信機は使えないので、現地で購入した方がよい。短波放送については、BBC，VOA，北京、モスクワなどによる英語放送が受信できるが、残念ながらNHKの日本語放送は全く

受信することができない。

(ｲ) 風俗、習慣

① 特に禁じられている風俗、食習慣、チップ等

i) アルコール類は販売が禁じられている。

ii) ラマダン（断食月）には外国人でも人前で飲食（水・タバコなど）することは、イスラム教にもとづく法律で禁止されている。

iii) 夜間における女性の一人歩きまたは運転外出は避けること。

iv) 見知らぬアラブ人女性に話しかけたり、見つめたり、カメラを向けたりしないこと。特につれの男性がいる場合には注意すること。

v) 石油基地、港などで写真をとったり、サウジアラビアやイラクとの国境に必要以上に近づいたりしないこと。

vi) チップは以下の様な場合に必要である。

- ホテルのポータに荷物1個当り１００フィルス
- ルームサービスのベルボーイに1回当り１００フィルス
- 室付メイドに毎朝５００フィルス程度
- 理髪、パーマでは1回当り２５０フィルス程度
- レストランのウエイターにはサービス料がbillに含まれていない場合１０％程度

なお、タクシー代は近距離の場合チップはいらない。

② 専門家としての体面

i) 暑い国なのでノーネクタイでラフな服装になりがちなの

で注意すること。一般にアラブ人は服装によって相手を評価しがちである。教養のあるアラブ人は夏でも身なりは大変清潔できちんとしている。

ii) 現地人は専門家の態度、言動などを通じて日本人または日本国を評価することになるのでこのことを常に心に留めておくこと。

iii) アラブ人は交際ずきなので、相互理解の増進のためパーティや家庭訪問などは可能なかぎり行うことが望ましい。

(ニ) 理髪店、美容院、クリーニング店

種　　別	平　均　料　金
理髪店（整髪）	750フィルス
美容院（パーマ）	6KD
クリーニング店（ズボン）	200フィルス
（シャツ）	100　〃
（背広上下）	500　〃

上記料金については、店の設備や場所などにより技術、サービスに大きな差があり、料金も異なっている。また衛生度については特に問題はない。

(ホ) 買　物

クウェイトには日本のように大規模なデパートはなく、すべて小さな店ばかりである。しかし、食料品に関しては大きな国営スーパーマーケットが各地区（サルミヤ、ダマス、シヤミアなど）に設けられており、日常生活に必要な食品、雑貨類のうち基本的なものはほとんど購入することができるので

便利である。また、私営スーパーマーケットも多く、主に欧米諸国などからの輸入食料品などを豊富に取り揃えている。日本食品はこの私営スーパーマーケットで購入することができる。一方、クウェイト市の中心部にはスークと呼ばれるアラビア風の中央市場があり、新鮮な野菜、果物、魚などを購入することができる。またシュエイク地区にはチャブラと呼ばれる野菜、果物などの卸売市場もある。また郊外のファハヒール港にも大きな魚市場が設けられている。なお、スーク（市場）ではアラビア語で値段の交渉が必要である。

(ヘ) 今後赴任する専門家に対するアドバイス

政府派遣専門家は南北問題の解決という全人類的な課題のため、国の政策に協力するという重要な国家的使命を担っているということが出来よう。

しかしながら、クウェイト国の場合には石油収入によって資金だけは有り余っているので、物ばかりでなく人や技術までも世界中から民間ベースでいくらでも輸入することができる。従ってＪＩＣＡによる政府のベースでの無償技術援助に対して他の発展途上国と同じように相手国側から感謝の念を特に期待する方が無理といえる。

また、日本政府の現地における代表機関である大使館においても派遣専門家の活動を積極的にバックアップするような姿勢はなく、むしろ無関心に近いと云えよう。このような背景のもとに派遣専門家は、クウェイト政府に雇用されている他の出稼ぎ外国人と何ら異ならない立場となり、ともすれば、

いわゆる"ゴールデンゲート"といわれるような自分だけのための安逸な生活に閉じこもり初心を忘れがちになるので自戒しなければならない。

Ⅱ 大使館連絡先

① 住 所：Embassy of Japan
3rd Floor , Badr Al-Salim Bldg.,
Salihiyah , Sovr Street , Kuwait

② Mailing Address:
Embassy of Japan
P. O. BOX 2304, Safat
State of Kuwait

③ 電話番号：424051～4

④ 電 略：NIHONTAISI KUWAIT

⑤ TELEX：C. 2196
A. TAISI 2196KT

LIB